

平成28年度 全国学力・学習状況調査 結果分析票

学校名：志木市立志木第四小学校 第 6 学年			
項目	成 果	課 題	改 善 策
国語A	・「読むこと」を除いた全ての領域・観点で全国平均を上回っている。 ・昨年度の6年生は漢字の読み書きにおいて全国平均を下回っている設問が多かった。今年度は1問下回ったが平均すると3ポイント全国を上回っており、100%の正答率の設問もあり、一定の成果が見られた。 ・無解答率も低い。	・目標に応じて図と表を関連づけて読むことに課題が見られた。 ・ローマ字を書くことにやや課題が見られた。	・資料と本文を結ぶつけて読むことができるよう国語の学習以外でも意識して取り組ませる。 ・目的に応じて複数の本や文章を比べながら読むなど、複数の資料を関連づけて読めるようにする。 ・パソコンを利用するときはローマ字変換を使うなどローマ字を意識して使うようにさせる。
国語B	・全ての領域・観点で全国を上回っている。 ・無解答率が低い。	・質問の意図をとらえることや課題が見られる。 ・グラフを基に分かったことを的確に書くことに、全国同様課題が見られる。	・質問の意図をとらえられるように話を集中して聞かせる。 ・Aの「読むこと」でも目標に応じて図と表を関連づけることに課題が見られた。図表が添えられた文章を関連づけて読んだり、自分が書く文章に図・表を用いるような言語活動を意図的に going to していく。
算数 数学A	・全ての領域・観点で全国を上回っている。 ・無解答率が低い。	・除数と被除数に同じ数をかけても商は変わらない、という基本的な知識・理解ができていない児童が多い。	・技能だけでなく知識・理解が伴って学習ができるようにするために、友達に説明させるような言語活動を取り入れながら知識・理解の定着を図る。
算数 数学B	・全ての領域・観点で全国を上回っている。	・Aの「除数と被乗数に同じ数をかけても商は変わらない」に課題が見られたのと同様、乗数や除法の式の意味を解釈するという、数量についての知識・理解に課題が見られる。 ・国語A、算数A、国語Bと無解答率が低かったが、算数Bの後半の問題で記述式のみならず選択式でも無解答率が増えている。	・技能だけでなく知識・理解が伴って学習ができるようにするために、友達に説明させるような言語活動を取り入れながら知識・理解の定着を図る。 ・日常からあきらめずに最後まで取り組む姿勢をもつよう支援する。
児童 生徒 質問 紙	・昨年度は自尊感情や規範意識が低かったが今年度は全国平均を上回っている。 ・ゲームやネットをする時間は少なく、学習する時間は多い。学習する習慣が身についている児童が多い。 ・国語や算数の学習を好きと答えている児童が多い。 ・一日に30分以上読書をする児童が44%とふえている。	・原稿用紙2、3枚の文を書くことを難しいとっていたり、自分の考えを他の人に説明したり文章に書いたりすることを難しいと感じている児童が多い。 ・調査問題の解答時間が十分ではないと回答している児童が多い。	・国語の学習は好きだが長文を書くのを苦手と感じている児童が多いので、文章を書かせる際は目的をはっきりさせ手立てをしっかりと、苦手意識をもたずに長文を書くことができるような言語活動を工夫する。 ・時間を要するのはいいに取組んでいることもあると思うが、文章の要旨を自力で早くつかむことができるように、日頃からいろいろな場面で取り組む。

平成28年度 埼玉県学力・学習状況調査 結果分析票

学校名：志木市立志木第四小学校 第 4 学年			
項目	成 果	課 題	改 善 策
国語	・全ての領域・観点で県平均を上回っている。特に読む能力は9ポイント上回っている。 ・無解答率も低い。	・漢字の書き、指示語の示す内容を書き抜くこと、ローマ字表記に課題が見られる。 ・県の平均は上回っているが、理由を挙げながら自分の考えを2部構成で書くことができていない児童が多い。 ・記述式の問題を苦手としてる児童が多い。	・作文の課題を毎週出すことで構成を考えながら書くことに慣れさせ、随時指導を行う。 ・宿題やテストで漢字の定着を図る。
算数 数学	・全ての領域・観点で県平均を上回っている。 ・本校の児童は、近年、図形、時計の読み取り・時間の計算に課題が見られたが、図形、時計とも学習の成果が表れている。	・県平均は上回っているものの、県と同様、小数の減法、分数の性質についての理解に課題が見られる。 ・数学的な考え方を苦手にしてる様子が見られる。	・前年度の学習内容をふり返りながら新しい学習を進めていく。 ・授業の中で話合いや考えを説明する場面を多く設ける。
英語 中学校			
児童 生徒 質問 紙	・やさしい言葉づかいの他は全項目目標値の80%を超え、県平均も上回っている。前年は12項目中7項目が80%未満であり、大きな成果が見られる。	・やさしい言葉づかいに課題が見られる。	・前年はていねいな言葉づかいにも課題が見られ言葉づかい全体が課題であった。引き続き言葉づかいについて道徳の授業や日常の取組の中で継続的な指導を続けていく。

平成28年度 埼玉県学力・学習状況調査 結果分析票

学校名：志木市立志木第四小学校 第 5 学年			
項目	成 果	課 題	改 善 策
国語	・全ての領域・観点で県平均を上回っている。 ・昨年度は時間が足りず最後まで考える余裕がないことも課題であったが、時間にも余裕をもって取り組むことができた。 ・昨年度は理由をあげながら文章を書くことにも課題が見られたが、今年度は県平均を30ポイントも上回り、成果が見られた。	・県同様、一文の中から主語・述語を書き抜くという文の構成を理解すること、ことわざの意味を理解して適切に使うことに課題が見られる。	・伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項に関しては、校内や教室内の言語環境を整え日常から活用できるようにする。 ・漢字については日頃から文章中に使うように指導する。
算数 数学	・全ての領域・観点で県平均を大きく上回っている。(6～13ポイント) ・集団における学力の伸びの平均も6と大きく伸びている。 ・昨年度は図形に関する問題に課題が見られたが本年度は県平均を6ポイント上回り、一定の成果がうかがえる。 ・無解答率も低い。	・文章を読み、関係をとらえて式に表すことをにが苦手をしている児童が多い。	・数直線等を用いて数と数との関係を式に表すようにさせる。 ・およその見当をつけてから計算をする習慣をつけさせる。
英語 中学校			
児童 生徒 質問 紙	・けじめのある生活に関する項目は全て目標値である80%を超えている。授業開始時刻に関しては3年連続で100%の達成率で時刻を守る意識は高い。	・あいさつ、学習準備、話を聞き発表する、に課題が見られる。特に、「話を聞き発表する」は68.3%と低く、昨年度と比較してもかなり下がっている。	・あいさつは全校の課題として、全校児童によるあいさつ運動や教員による啓蒙を粘り強く続ける。 ・毎時間授業の終わりに、次時の準備をするよう習慣づくまでよびかける。 ・朝会等で全校児童が集まる場や学習中に話を聞く態度を徹底させる。また、聞き方を育てることで話をしたくなるような雰囲気をつくる。

平成28年度 埼玉県学力・学習状況調査 結果分析票

学校名：志木市立志木第四小学校 第 6 学年			
項目	成 果	課 題	改 善 策
国語	・全ての領域・観点とも県平均を上回っている。 ・昨年度課題であった漢字の読み書きや多義語、修飾語・被修飾語なども少しずつではあるが解決の方向性が見えてきている。	・文脈に合う漢字を正しく書くことにやや課題が見られる。 ・話し合いを進める上での司会者の役割を理解にやや課題がある。 ・慣用句の意味を理解し、適切に使うことにやや課題が見られる。	・文章の中で意図的に漢字を使わせたり短文での漢字学習や漢字テストを行う。 ・ことわざや慣用句を調べて朝のスピーチで紹介する活動を取り入れ親しませる。 - 学級会や討論会で話し合いの流れを確認し、体験の回数を重ねる。
算数 数学	・全ての領域・観点とも県平均を上回っている。特に数学的な考え方の正答率は10ポイントほど高い。 ・昨年度課題であった図形に関する問題も今年度は県平均を8ポイント上回り、一定の成果が現れている。	・図や言葉や式を使って考え方を説明する問題の正答率が低い。 ・単位量あたりや割合、百分率の問題に県同様課題が見られる。	・言葉や式、図を使ってノートに説明を書く場面を意図的に増やす。 ・式が何を表しているのかを言葉で説明できるようにさせる。 ・計算タイムで、定着していない単元の復習をさせる。
英語 中学校			
児童 生徒 質問 紙	・「けじめのある生活ができる」に関する項目は全て目標を達成している。	・あいさつ、学習準備、話を聞き発表する、清掃美化活動 に課題がある。特に、「話を聞き発表する」は67.7%と低い。昨年度までの結果や国語のアンケートからも本学年の児童は「発表」など声を出して発信することができない傾向にあることが分かる。	・様々な学習場面や生活場面において、自分の考えを発表したり、交流したりする機会を設ける。 ・最高学年として日々あいさつに努めるよう働きかける。 ・清掃活動では役割や場所の具体化をし、成果が目に見えて分かるような工夫をし、勤労奉仕意欲を高める。